

農林水産大臣賞受賞

伝統文化、芸能、農業が融合した地域興しによる元気なむらづくり

おおはまこうみんかん
受賞者 **大浜公民館**
(沖縄県石垣市)

■ 地域の沿革と概要

大浜集落が位置する石垣市は、那覇市から約410km、東京から約1,960km、隣国台湾（台北）から約280kmの距離に位置する国境のまちであり、アジアとの結節点となる位置にある。年間を通じ温暖であり、さとうきびやパイナップルをはじめとする亜熱帯農業、石垣牛の生産、マグロ漁や近海漁業などの第一次産業を中心に、亜熱帯の自然の恵みを活かした産業が盛んである。

また、昔から豊穰や雨乞い、大漁や航海の安全を祈願する数多くの伝統文化が人々の中で受け継がれている地域である。

■ むらづくりの概要

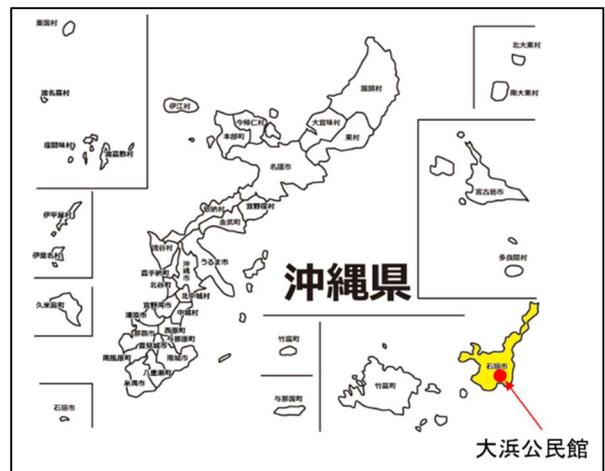
1. 地区の特色

大浜集落は、石垣島の南部に位置し、東は太平洋に面し、北方には於茂登岳^{おもとだけ}の連山がそびえ、農耕地の中央を宮良川が緩やかに流れ、農業環境に最も恵まれたところにある。

歴史的には、島民解放のため権力に立ち向かい、地域の人々から太陽と崇められ、信望を一身に集めていた英雄「オヤケアカハチ」の戦った地として、古くから知られている。

当地域は、国営かんがい排水事業により、石垣島で先駆けて水有り農業を展開した地域であり、さとうきびと畜産の複合経営やマンゴー、トマト等の高収益な作物への転換が図られている。

第1図 位置図



第1表 地区の概要

事項	内容	
地区の規模	集落	
組織の性格	地縁的な集団等	
人口等	総人口	47,637人
	総世帯数	22,033戸
農業経営体数 (内訳)	農業経営体数	627経営体
	個人経営体数	586経営体
	団体経営体数	41経営体
	(内、法人経営体数)	40経営体
農用地の状況 (内訳)	総土地面積	22,915ha
	耕地面積	5,298ha
	田	318ha
	畑	4,980ha
	耕地率	23.1%
	一経営体当たり耕地面積	8.4ha

注：石垣市の概要

2. むらづくりの基本的特徴

(1) むらづくりの動機、背景

大浜集落は、昔から地域のつながりが強かったが、高度経済成長とともに、集落外での就労や兼業農家の増加、青年会等の各組織の活動低下が生じた。このままでは、大浜に対する帰属心が薄れていくのではないかという危機感から、かつての英雄「オヤケアカハチ」のように勇敢に立ち向かう「アカハチ精神」を住民の心に復活させ、大浜集落のさらなる活性化を図ろうと、平成15年に「大浜アカハチ祭り」を創設し、地域興しを行った。

さらに大浜公民館長を筆頭に、目指すべきビジョン（憲章）をつくろうと、平成17年に大浜公民館憲章が制定された。その憲章の実現に向け、運営審議委員会を毎年開催し、豊年祭を中心とした各種イベント等の活動計画について、話し合いを行っている。



写真1 オヤケアカハチ像

(2) むらづくりの推進体制

むらづくりの推進体制は、当公民館が中心となり、沖縄県、石垣市、JAおきなわ、土地改良区等の関係機関と密に連携を図りながら積極的な地域活動が行われている。

また、当公民館の下部組織として、青年会、婦人会、老人クラブ長寿会、子ども会を設置し、会ごとに様々な活動を展開し、世代間の交流が図られている。



写真2 運営審議委員会

ア 大浜公民館下部組織の概要

① 青年会

青年会は19才から30才までの男女で構成されており、21名の会員からなる。豊年祭や清掃活動、公民館大運動会、大浜青年会アングマ（八重山地方で旧盆の夜に祖先の霊を供養する行事）など地域活動の中心組織である。

② 婦人会

主に60才までの女性で構成され、170名の会員から構成されている。豊年祭やカジマヤーパレード（数え年97才の長寿を祝う沖縄の伝統行事）など伝統行事での踊りに加え、道路沿いの花壇管理や清掃活動を行っている。

③ 老人クラブ長寿会

65才以上の合計370名の会員で構成され、清掃活動や伝統行事への参加、老人クラブ作品展覧会などの活動を行っている。

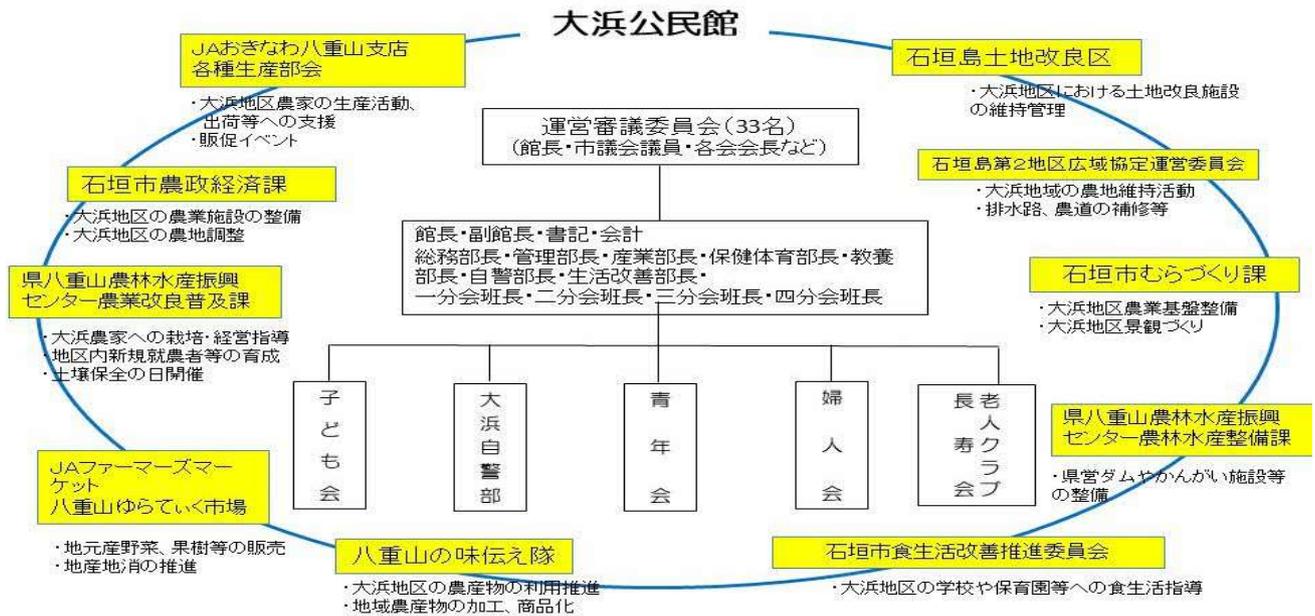
④ こども会

スポーツ少年団の80名で構成されており、青少年の活動助成、健全育成に寄与することを目的に清掃活動やスポーツ大会などの活動を行っている。

⑤ 大浜自警部

主に男性の22名の会員から構成されている。犯罪のない明るい地域社会を作るため、夜間パトロールや石垣島トライアスロンにおけるボランティア、環境美化運動として清掃活動等を行っている。

第2図 むらづくり推進体制図



■ むらづくりの特色と優秀性

1. むらづくりの性格

大浜公民館においては、安定的な農業用水の確保により気象に左右されやすい従来の農業から脱却し、農業経営の多角化が図られ後継者の確保に繋がっている。また、産業共進会を主催し、古くからの伝統文化を大切に継承しつつ、新たな行事を開催するなど、市街化の流れにある中においても移住者を受け入れ、地域住民とともに各行事を通してむらづくりに取り組み、地域の振興及び発展に貢献している。

2. 農業生産面における特徴

(1) 農業生産、流通面の取組状況

大浜集落ではこれまで、さとうきび、草地での飼料作物の栽培が主であったが、土地改良事業の進展により、安定した水利用が図られる環境が整備された。これにより、平成26年度以降、特定地域経営支援対策事業によるマンゴーやトマト等の温室施設の整備が行われ、園芸品目の生産基盤の強化が図られ、農家所得の向上に大きく寄与している。また、畜産に

については、繁殖雌牛用牛舎の整備が行われ、肉用牛の生産向上が図られている。

当集落で生産された野菜や畜産物等の農産物の多くは、島外出荷のほか、平成 23 年 4 月にオープンしたファーマーズマーケット「八重山ゆらていく市場」に出荷され、農家所得の向上に寄与している。

また、JA を中心とした生産団体と連携して、大浜公民館主催の産業共進会を開催し、集落の畜産農家やさとうきび、パインアップル、野菜等の多収農家を表彰することで、農業生産者の意欲の高揚と経営意識の向上が図られている。



写真 4 産業共進会で表彰された農家

(2) 経営の改善、後継者の育成・確保、女性の経営参画の促進状況

ダム及びかんがい施設の整備により営農条件が好転し、高収益作物等の栽培による農家の経営改善が図られるたことで、若い後継者が徐々に戻ってきており、親世代から農業を学びながら経営継承に備えている。平成 30 年度は、新規就農者 8 名が誕生したほか、その後も毎年 4 名前後で推移しており、ここ 5 年間 (H30～R4) で 26 名となっている。

また、大浜集落において、家族間経営協定を結んでいる農家は 7 戸あり、女性農業者が参画することにより地域の農業振興に貢献している。

3. 生活・環境整備面における特徴

(1) 地域ぐるみの環境整備

公民館と青年会等の下部組織において、文化発表会、深夜巡回パトロール、地域内の美化・清掃活動など、各種の地域活動を実施しており、子供からお年寄りまでが住みやすい地域づくりに取り組んでいる。



写真 5 花壇設置・清掃活動

(2) 地域コミュニティの強化、伝統文化の継承

公民館では集落の連帯感や団結心を更に高めるため、これまでの伝統行事に加え、公民館を中心に地域住民が連携し、新たな行事にも積極的に取り組み、平成 15 年から「大浜アカハチ祭り」が定着するなど、地域活性化に寄与している。

また、毎年、子どもからお年寄りまで多くの住民が参加し、地元で自生しているイトバショウの茎から旧盆明けのイタツキバラ (獅子舞) などで演じられる獅子の胴衣に使用する「フクダ (毛)」



写真 6 児童生徒による演舞

を作る作業を行っている。イトバシヨウの茎から繊維をそぎ分けて乾燥させる作業が、コミュニケーションの場としての役割を果たしている。

次世代を担う子供たちを地域全体で育みながら、「フクダ作り」、「アングマ」及び「豊年祭」等の伝統行事や伝統芸能を大切に守り続けることで、地域住民のコミュニティの強化に繋がっている。



写真7 イタツキバラ（獅子舞）



写真8 フクダ（毛）作りによる交流

(4) 地域への定住促進、女性の社会参画の促進状況

大浜集落では、土地改良事業の進展によるさとうきびや飼料作物等の規模拡大、ハウス等の整備による果樹等の多品目栽培による収益の向上などの農業経営の拡大を図れる環境や、アパート等の住環境も整ってきたことにより、最近ではUターンで戻ってくる若い世代や県外からの移住者も多い。

また、八重山地域の女性農家が地域食材をPRする目的で平成18年に結成した「南の島々から八重山（やいま）の味つたえ隊」には、隊員10名のうち、大浜在住の女性農家3名も参加しており、区の婦人会にも長年所属し、中心的に活躍している。大浜集落等の島内で生産された農産物を加工してオリジナル特産品を開発し、八重山の農水産物のPRや地産地消の推進に貢献している。



写真9 南の島々から八重山（やいま）の味伝え隊の皆さん